



生命環境学部・大学院医工農学総合教育部生命環境学専攻 この一年（令和7年4月～令和8年3月）

令和7年度 山梨大学 入学式

4月4日（金）、YCC 県民文化ホールにおいて入学式を挙行了しました。

生命環境学域では、学部175名、修士課程44名、博士課程2名、計221名の新入生が、新生活をスタートさせました。式では、中村和彦学長が「自らの『無限の可能性』を信じ、積極的に新しいことに挑戦していただきたい」と式辞を述べました。



令和7年度 生命環境学域 学生表彰

生命環境学域では、学部生として、優秀な成績を収めた学生及びその行為が社会的に高く評価された学生、また、修士課程で学術研究活動において顕著な業績を挙げたと認められた修了予定者等、生命環境学域学生の模範となり得ると認められた学生に対し学生表彰を行っております。

令和7年度は32名の学生が対象となり、3月19日（水）に学部4年次生・修士課程2年次生（卒業生）、在学生については4月10日（木）に表彰を行いました。



山梨大学名誉教授称号授与式

5月26日（月）、本学名誉教授称号授与式が挙行され、令和7年3月31日に生命環境学域を退職された以下の先生方に山梨大学名誉教授の称号が授与されました。

地域食物科学 舟根和美教授

地域社会システム学科 大山勲教授、渡邊靖仁教授、渡邊幹彦教授



※左から、岸上哲士学域長、渡邊幹彦名誉教授、大山拓次評議員

山梨大学ワイン科学士認定証書授与式

6月26日（木）、大村智記念学術館において、第17回 山梨大学ワイン科学士認定証書授与式を挙行し、ワイン科学士20名・準ワイン科学士9名を認定しました。ワイン科学士は、山梨大学ワイン・フロンティアリーダー養成プログラムを修了し、認定試験に合格した方に授与されるものです。このプログラムは、国産ワインの品質の向上、地域ブランド化、さらにはグローバルスタンダード化を中核となって推進できるフロンティアリーダーの養成を目指しており、2015年に文部科学大臣から職業実践力育成プログラムに認定されたものです。



※準ワイン科学士に認定された本学学生の皆さん

大村智記念基金奨学金授与式

6月26日(木)、大村智記念学術館において、山梨大学大村智記念基金奨学金授与式を行いました。

この奨学金は本学独自の制度であり、学部学生の学業を奨励するものです。生命環境学部からは各学科1名、計4名の学生に中村和彦学長より目録と記念色紙が授与されました。

生命工学科 萩原成美さん 地域食物科学科 若月和信さん
環境科学科 森元一真さん 地域社会システム学科 鈴木優莉さん



地域食物科学科・片岡良太准教授が本学附属幼稚園の年長児に食品残渣を活用したキノコ栽培を指導

7月11日(金)、地域食物科学科・片岡良太准教授が本学附属幼稚園の年長児に各家庭から持ち寄った食品残渣を利用したキノコの菌床作りを指導しました。

園児たちは事前に乾燥処理をした食品残渣にコーヒーや麦茶のカス、もみ殻などを混ぜ、菌床作りに取り組み、家から持ってきた食品残渣の変化にとっても驚いた様子を見せていました。

作成された菌床は片岡准教授の研究室で培養されたのち、秋に収穫作業も行われました。

今回の取り組みは園児にとって「食品ロス」解消に向けた「リサイクル」を実際に体験しながら学べる貴重な機会となりました。



オープンキャンパス

8月2日(土)、オープンキャンパスを開催しました。

午前・午後の2部制で、学科ごとに学科紹介、研究紹介、施設見学、ミニ実験、模擬講義、大学生活紹介、保護者向け説明等を行いました。昨年に引き続き、今年度も参加者に喜んでいただけるよう、附属農場で収穫した桃、新学部グッズ(アルミ定規)を配布しました。

猛暑の中、約600名の高校生・保護者にご参加いただきました。



就職活動座談会の開催

9月30日(火)、生命環境学部及び生命環境学専攻(修士)の学生を対象に、就職活動座談会を開催しました。

就職活動経験者として、学部4年生、修士2年生計5名から就職活動について報告があった後、下級生を交えて情報交換を行いました。

本年度の座談会では、毎年実施している懇談会における「上級生との交流の機会が欲しい」「就職に関する話を聞きたい」「履修や大学生活について、上級生から直接話を聞ける場が欲しい」といった学生の声を受け、就職活動や大学生活について先輩と気軽に話せる交流の場としました。

参加した学生からは、「大変参考になった」「とても楽しかった」「自分と同じ学科の先輩に質問することができたので、より具体的に進路をイメージすることができた。」といったポジティブな声が多く寄せられ、非常に有意義な時間となったようです。

生命環境学部では、引き続き、将来の目標に向かって頑張る学生をサポートしていきます。



令和7年度 山梨大学学業成績優秀者表彰式

本学では、学業において特に優秀な成績を取め、かつ本学学生の模範となると認められた学生を学業成績優秀者として表彰しています。

10月1日(火)、大村記念ホールにおいて学業成績優秀者表彰式を行い、生命環境学部からは各学科1名、計4名の学生が表彰されました。

生命工学科 深谷帆乃花さん 地域食物科学科 矢内幹太さん
環境科学科 齋藤美依奈さん 地域社会システム学科 石丸 賛さん



生命環境学部附属小曲農場オープンファーム『生き物観察会』の開催

10月18日(土)、生命環境学部附属小曲農場で、やまなしジュニアドクター育成自然塾との連携のもと、小学校高学年を対象に、初めての公開イベントとなる「生き物観察会」を行いました。

当日は、元山梨県総合農業技術センター研究管理幹の國友義博先生をお迎えし、農場に暮らす生き物を観察しながら、農業と昆虫の関係、そして有機農業における昆虫やその住処となる雑草の重要性について学びました。

國友先生からは、「害虫」という言葉は人間が作った言葉であり、昆虫には害虫は存在しないという説明があり、普段の生活では気づかない小さな昆虫の活動や、生き物同士の関わりの観察を通して、生物多様性、環境との関わり、そして農業との関わりについて深く考える機会となりました。



日本ブドウ・ワイン学会 2025 甲府大会 大会発表賞

11月7日（金）から8日（土）、日本ブドウ・ワイン学会 2025 甲府大会において、生命環境学域（地域食物科学科・ワイン科学研究センター）の井上絵梨特任助教と修士課程生命環境学専攻食物・ワイン科学コース2年の関谷彩侑菜さん（指導教員：齊藤史恵 地域食物科学科・ワイン科学研究センター助教）が、それぞれ大会発表賞を受賞しました。



第11回山岳科学学術集会および山岳科学公開シンポジウム

「消えゆく草原の再生と管理—ネイチャーポジティブの実現に向けて—」の開催

本学では筑波・信州・静岡大学と連携して「山岳科学特別教育プログラム（修士課程）」を開設し、山岳域の環境問題の解決や持続的管理に貢献できる人材を育成しています。

12月13日（土）・12月14日（日）、本学主催の第11回山岳科学学術集会を開催し、このプログラムに参加する学生が中心となり口頭およびポスターによる研究成果の発表を行いました。教員含め約150名が参加し、多岐に渡る山岳域の課題について議論するとともに、学生同士の交流も盛んに行われました。



また、14日の午後からは山岳科学公開シンポジウム「消えゆく草原の再生と管理—ネイチャーポジティブの実現に向けて—」を開催し、約100名が聴講しました。

【学生企画イベント】「小菅村の子どもたちの大学訪問プロジェクト」の実施

1月9日（金）、生命環境学部地域社会システム学科観光政策科学特別コース田中敦 教授のゼミの学生たちが企画をした「小菅村の子どもたちの大学訪問プロジェクト」が行われました。

当日は小中学生8名と村教育委員会、公営塾の関係者4名が大学へ訪れ、キャンパスツアーや学食体験、模擬講義、実験室の見学、部活体験など、多くの活動を通じてゼミ生との交流を行いました。また、大村智記念学術館の見学の際には、中村和彦 学長から大村博士に関するお話や激励の言葉をいただきました。



山梨県観光文化・スポーツ部 小泉嘉透部長による特別講義の実施

1月14日(水)、甲府キャンパスにおいて、小泉嘉透 山梨県観光文化・スポーツ部長をお招きし、特別講義を実施しました。

「山梨県の観光戦略と可能性」をテーマに、県の観光戦略の概要や、観光産業の重要性について、小泉部長のこれまでのキャリアにも触れながら、県の仕組みづくりに関与できる公務員の仕事の魅力や可能性についてもお話をしていただくなど、学生にとって、政策形成の現場を具体的に理解する貴重な学びの機会となりました。



地域スーパー「いちやまマート」と山梨大学が連携

—講演会・農業体験イベントを開催—

2月7日(土)、学部附属農場において、いちやま健幸倶楽部を通じて募集した地域住民を対象に、生活習慣病予防をテーマに講演会および農場説明・収穫体験会を開催しました。

当日は、本学地域食物科学科 食品栄養学研究部門の望月和樹教授が講師を務め、「生活習慣病と食後血糖値の関係」および「食後高血糖を抑制するための食生活の工夫」について、科学的根拠に基づき解説しました。また、附属農場の小林勇太技術職員より、附属農場における教育研究活動の概要説明を行い、実際に農場で栽培している水耕栽培チンゲン菜の収穫体験を実施しました。



今後も、いちやまマートと山梨大学は相互に連携し、地域に根ざした健康情報の発信および実践的な取り組みを継続していきます。

定年退職教員を送る会

3月4日(水)、工学域・生命環境学域定年退職教員を送る会が開催され、本学部からは、3月31日に定年退職される地域食物科学科・柳田藤寿教授、地域社会システム学科・伊藤一帆教授が出席しました。

これまで、教育、研究及び大学の発展のためご尽力いただき、誠にありがとうございました。



環境科学科4年の小倉勇輝さんが「第60回日本水環境学会年会」で発表賞を受賞

3月9日(月)～11日(水)、中央大学多摩キャンパスで開催された「第60回日本水環境学会年会」において、環境科学科4年の小倉勇輝さんが「年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)(優秀賞)」を受賞しました。

この賞は、学部生、高専生、短大生が行う優秀なポスター発表に対して表彰されるもので、126名のうち16名が受賞しました。



山梨県立甲府第一高等学校にて出前講座を実施

3月11日(水)、山梨県立甲府第一高等学校において、2年生理系クラスの生徒113人を対象に、本学高度生殖補助技術センターの古里咲綺乃特任助教が出前講座を実施しました。

講座では、「胚培養士～“いのちのはじまり”をお手伝いする仕事～」と題し、生殖医療の概要や体外受精などの胚培養技術について解説するとともに、本学で実施している胚培養士特別教育プログラムについて紹介しました。

講義終了後には質疑応答の時間が設けられ、生徒から多くの質問が寄せられるなど、関心の高さがうかがえる有意義な機会となりました。



令和7年度 学生表彰式

本学では、優秀な成績を取めた学生及びその行為が社会的に高く評価される等学生の模範となりうると認められた学生・団体を表彰しています。

令和7年度は本学部・専攻から4個人が受賞となりました。

★学生表彰（学術研究活動）

藤川ののかさん（地域社会システム学科4年）

関谷彩侑菜さん（大学院修士課程（食物・ワイン科学コース）2年）

足立遥郁さん（大学院博士課程（生命農学コース）2年）

山地莞梧さん（大学院博士課程（生命工学コース）2年）



卒業・修了式

YCC県民文化ホールにおいて、令和7年度山梨大学卒業式・修了式を挙行し、生命環境学域では、学部151名、修士課程45名、博士課程7名、計203名が卒業・修了しました。

中村和彦学長が卒業生・修了生代表に学位記・修了証書を授与し、「大きな変革の時を迎えた現代において、自分の人生を自分で切り開くという志を持ち、周りの人の気持ちを慮りながら、ここ山梨大学から世界に羽ばたき、大いにご活躍いただきたい」と式辞を送りました。

卒業・修了生のみなさん、おめでとうございます。

